

公益財団法人第五福竜丸平和協会
2019 年度事業報告
2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日

本年度は、展示館の大改修工事・長期休館を経てリニューアル開館し、あらためて第五福竜丸からの発信事業に力をそそいだ。本年度は展示館開館から 44 年、船歴は 73 年、ビキニ水爆実験被災から 65 年の節目の年の中で展示館管理業務を行った。展示館リニューアル・オープンは報道等でも取り上げられ、4 月以降多くの入館者があった。

展示館が立地する都立夢の島公園が、オリンピック・パラリンピック会場となるため、その整備工事等で園内通路の変更等があり、来館者への周知等、広報にとりわけ配慮した。2020 年 1 月より新型コロナウイルスの感染拡大が懸念され、団体見学の予約がキャンセルされる日が続き、3 月 28 日より都の他の施設と同様臨時休館の措置がとられた。

1 公益法人のかなめの事業

①展示館業務

・当年度、第五福竜丸展示館は定められた休館日を除き 309 日間開館の予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため 3 月 28 日より臨時休館措置をとり 306 日間開館した。展示館管理業務は 309 日間実施した。

・来館者総数は 111,594 人、うち団体見学数は 920 団体、23,227 人（小学校 70 校 3376 人、中学校 146 校 7,816 人、高校 43 校 1,535 人、大学 106 校 882 人、その他の青少年団体 34 団体 1,064 人、一般団体 564 団体 8,554 人）、一般来館者は 88,367 人であった。2 月 26 日政府よりイベント等自粛要請を受け、見学を予定していた学校等のキャンセルが発生した（中学校 5 校 438 人、大学 2 校 32 人、一般団体 15 団体 201 人）。

・見学者に対して、学芸員・ボランティアが逐次解説し、より理解が深まるよう見学をサポートした。学生のレポート課題、研究者へのレファレンスなどの対応をした。

・カラー版「展示館のしおり」を広報宣伝に活用した。リニューアル開館を記念した企画展をホームページ等で広報し、新聞・テレビ・ラジオの取材に協力した。

・海外からの来館者も多く、館内に設置された来館者ノートと来館者アンケートへの記入によると、米国、台湾、ドイツ、イギリス、ノルウェー、南アフリカ、チェコ、タイ、オランダ、カナダ、ニュージーランド、ネパール、アイルランド、ケニア、オーストラリア、ポーランド、イタリア、サウジアラビア、インド、マーシャル諸島、中国、韓国、スコットランドなどから来訪があった。

・第五福竜丸の意義を広報する「福竜丸だより」を 6 回発行した（各回 1000 部、賛助会員、協力者・協力団体等に郵送。館内外で配布）。リニューアル開館、企画展を告知するチラシを製作し活用した。

②企画展・展示替等の取り組み

❖リニューアル開館を記念して3回の企画展を開催した。

第1回企画展 4月28日～6月16日

「第五福竜丸の航海を支える展示館大規模改修をたどる」

2018年7月～2019年3月、9カ月に及ぶ展示館大規模改修工事が行われた。工事の記録写真、工事に使用されたモックアップ（実物大試作模型）、工事の監理技術者、現場責任者へのインタビューに基づく解説等を展示した。5月5日に記念イベントを開催し、展示館の設計者、工事関係者らが出席し、他に類をみない工事の過程を振り返った。記念イベントには50人余りが参加し、「想像できないほどの苦勞を知り、第五福竜丸展示館の重要さへの思いが深まった。」「無事故で難工事をやり遂げたプロの技を知った」との感想が寄せられた。

<主な展示物>

工事記録写真パネル

①仮設足場・船体の保護 ②床・壁 ③屋根 ④断熱材設置試験・断熱材性能実験

現物資料

屋根及び屋根下地モックアップ

膜材モックアップ

鋼製床モックアップ

映像資料

展示館屋根上部調査映像

第2回企画展 7月13日～9月29日

「なぜ？ ベン・シャーンが見た福竜丸～13点のデッサンと漁師たち」

第五福竜丸平和協会は、アメリカの画家ベン・シャーンの絵画作品を所蔵している（素描7点、ポスター3点など）。ベン・シャーンの描いた<ラッキー・ドラゴンシリーズ>は、第五福竜丸の水爆被災と亡くなった久保山愛吉氏に寄せる連作であり、その発端はラルフ・ラップのルポルタージュ「第五福竜丸」（1957年）の挿画である。詩人アーサー・ビナードが構成した絵本『ここが家だ ベン・シャーンの第五福竜丸』（2006年 第12回日本絵本賞受賞）は多くの読者を得ており、この絵本から着想を得た吹奏楽曲『ラッキー・ドラゴン 第五福竜丸の記憶』（福島弘和作曲 2009年）が作曲され、これまでに1000を超える楽団が演奏している。第五福竜丸展示館はこうした作品に触れた人たちが船を身近に感じられる施設として親しまれている。所蔵するベン・シャーン作品と関連資料を展示することで、より深くビキニ事件と第五福竜丸のこゝろを感じてもらおう展覧会となった。展示館の環境を考慮し、現場展示は期間を限定し、複製画の展示を行った。美術手帖ウェブ版、静岡新聞などで紹介された。

関連企画として子どものための音楽朗読劇「くじらのこゝろ なみのこゝろ」の展示館初演を

軸とする「くじらのような大きな船の音楽会」を10月12日開催予定だったが、台風19号の影響で延期した。

<主な展示物>

- ・ デッサン 13点
 - 「港」「出港」「彼らの道具」「漁」「サンゴ礁の怪物」「降下物」「死んだ彼」「病院にて」
 - 「船主」「写真家」「報道から」「彼の妻」「なぜ」
- ・ ポスター
 - 「水爆はやめろ」「オープンハイマー」「フィラデルフィア美術館ベン・シャーン展」
- ・ 現物資料
 - 漁師の日用品　ビキニ事件当時の雑誌　死の灰試料　乗組員衣類

第3回企画展 11月23日～3月10日

写真展「ビキニの海は忘れない～漁師たちの証言とポートレート」

アメリカの水爆実験により被害をうけたのは第五福竜丸だけではなく。1954年当時、第五福竜丸を含む多くの漁船が、核実験がつくりだした「死の灰」の下で航行・操業していた。この事実にあらためて向き合い、関係者の聞き取り調査を始めたのが1980年代の高知県の高校生と教員たちだった。語り始めた被害者たちと遺族の不安と苦悩が明らかになるなかで、次第におとなたちも動き出し、初の「ビキニ被災健康調査」が行われた。

高知県在住のカメラマン・岡村啓佐氏は、こうした動きに刺激され、県内の被ばく者の撮影とインタビューを続けており、写真集『No Nukes』を刊行した。岡村氏は同書に納められた被ばく者と遺族のポートレートと証言による展示物を製作し、各地で展覧会を開催している。この展示物を借り受け、近年公文書開示によって得られた新たな知見も加えて、船の周りに展示した。

来館者が証言や航跡図を熱心に読む姿が続き、館内アンケートには「第五福竜丸だけが被災したのではないことを、あらためて知った。」「このような証言をすることなく、亡くなった人もいると思う。事実を遺すことは大切。」などの言葉が寄せられた。

展示館ボランティアの会では岡村氏を招いて学習会を行った。また、「3・1ビキニ記念のつどい」では岡村氏による講演が行われた。

<主な展示物>

- ・ 水爆実験被災者とその遺族のポートレート
- ・ 開示された外交資料より、各船の航跡図
- ・ 室戸市在住の元乗組員より寄贈された「びん玉」「六分儀」
- ・ 土佐清水市在住の元乗組員より寄贈された、擬餌針のモニュメント

❖リニューアル開館に合わせて新設した導入映像展示に英語のナレーションを追加した。

❖3・1ビキニ記念のつどい

2月24日 東京夢の島マリーナ会議室にて、映画『第五福竜丸』、映画『ビキニの海は忘れない』（森康行監督）上映と、岡村啓佐氏の講演を行い延べ80人が参加した。

③第五福竜丸・ビキニ事件、世界の核被害を伝える取り組み

当年度は、現物資料・展示用パネルの貸し出しに加え、第五福竜丸の被ばくを描いた映画「西から昇った太陽」の普及に取り組み、各地で上映会が企画された。

【資料貸出・パネル展等】

4月1日～6月30日	海の博物館
6月22日～7月9日	東都生協 平和祭り
7月26日～7月31日	西宮市（原水爆禁止西宮協議会）
8月3日～8月9日	さいたま市
8月13日～9月8日	大和市平和都市推進事業
8月	三浦市ピースデー及び市内の小中学校巡回
8月17日～8月18日	浜松・戦争体験を聞く会
8月16日～8月20日	杉並・高円寺図書館
9月18日～10月1日	浦安市
2月7日	日本非核宣言自治体会議
2月28日～3月2日	沖縄県生協連
2月13日～3月5日	八王子市民放射能測定室

以上、展示12か所

【映画「西から昇った太陽」貸出】

5月4日	ハチドリ舎
5月10日	伊東市原水協
5月19日	被爆者とともに歩む横須賀市民の会
5月25日	稲沢9条の会
5月25日	福岡県八幡原水協
6月15日	医療労組おおさか
6月29日	福岡県八幡原水協
7月15日	松戸市平和委員会
7月14日	被爆者の声を受け継ぐ映画祭実行委員会
8月3日	原爆と人間展

8月18日 神奈川県民間教育研究団体協議会
 8月11日 福津平和行進実行委員会
 8月18日 福岡平和のための戦争展実行委員会
 8月24日 日本母親大会実行委員会
 8月25日 パルシステム東京 南部平和委員会
 8月28日 越谷民主市政の会
 9月1日 乙訓原水協・平和委員会
 9月7日 静岡市民文化会館
 9月21日 豊橋母親大会
 9月21日 越生町9条の会
 9月28日 ヒバクシャ国際署名をすすめる清須の会
 10月3日 理化学研究所
 10月19日 被爆体験を継承する会
 10月19日 原水爆禁止高岡連絡協議会
 2月8日 コープあいち「ハート」
 2月9日 鎌倉原水協
 2月19日 西都保険生協
 2月29日 守山区原水協
 2月24日 京都平和委員会青年学生部
 3月1日 沖縄県生協連

以上上映 30 か所

【学芸員講話・講演等】

6月1日 三重県生協連核問題学習会
 6月11日 明治学院大学・広島長崎講座
 6月13日 横浜市立奈良中学校
 7月1日 港区平和青年団研修
 7月10日 日本大学法学部特別講義
 7月14日 被爆者の声を受け継ぐ映画祭
 7月15日 東都生協平和フェスティバル
 8月2日 コープみらい学習会
 8月3日 大分県教組平和講座
 8月8日 東アジア日中韓青少年歴史キャンプ
 8月9日 長崎・活水女子中学高校全校平和講座
 8月18日 神奈川県民間教育研究会
 8月21日 コープみえ平和学習会

8月22日	伊勢市「牛乳パックでつくる第五福竜丸」
8月24日	日本母親大会 分科会助言者
8月24日	三浦市ピースデー
9月7日	茨城県原水協学習会
10月5日	非核平和宣言横浜記念集会
10月18日	三輪田学園中学校
10月19日	広島市原爆を伝える市民の会学習会
11月1日	神奈川学園中学校
11月12日	横浜国立大学 ジャーナリズム・留学生特別講義
11月15日	ピースフル藤沢 映画上映会
11月23日	アメリカの原爆投下の責任を問う会
12月4日	田園調布学園高校
1月30日	大田区立貝塚中学校
2月2日	鎌倉原水協 「映画と学習のつどい」
2月14日	3・1 ビキニ札幌のつどい
2月15日	3・1 ビキニ空知のつどい
2月22日	アイケーブリッジ外語学院

④船体・エンジン等の保存のための検討作業

当年度は第五福竜丸船体等保存検討委員会を6月20日（第4回）、12月5日（第5回）の2度開催した。また7月8日には、第2回となる第五福竜丸船体（船体左舷側）の三次元測量を行った。

第4回委員会では、前年度に行われた第五福竜丸展示館改修工事による船体への影響は特に見られないことが確認されたほか、第2回三次元測量の実施計画について、また劣化が進むエンジンの保存対策について協議した。第5回委員会では第2回三次元測量の結果と、エンジンの保存対策、及び第五福竜丸船内の環境調査について協議が行われた。

12月7日付で第五福竜丸船体等保存検討委員会委員である東京文化財研究所中山俊介特任研究員からエンジンの劣化に対する処置についての提案がなされた。

1月23日の現地調査、東京都の了解のもと、2月11日エンジンシリンダー部の落下防止策としてナイロン製のバンドで6基のシリンダーすべてを固定する処置を行った。

このほか、学生ボランティアの協力を得て適宜エンジンの清掃を行った。また、12月22日には第五福竜丸船体の状態を見ながら甲板上の煤払いを行った。

⑤資料収集の取組み

資料収集の取組みとして、約半世紀にわたりマーシャル諸島を取材してきたフォトジャ

ーナリストの島田興生氏が撮影した写真100点を協会の所蔵資料として購入した。中でも、1974年にロングラップで撮影された写真、また1976年にビキニ環礁で撮影された写真は、核実験で島を追われた住民たちが故郷で暮らす様子を映した貴重な作品群である。このほか、避難先であるキリ島やメジャト島で米国からの支援物資に頼る生活や、故郷を想い、放射能の不安に怯える住民の表情を映した写真など歴史的な資料として大変貴重なものばかりである。

これに加えて、島田氏が取材した住民や島の様子など、これまでの取材活動に関する聴き取りも並行して行った。

【特記事項】

- 4月2日 リニューアル・オープンに多数のメディアが取材に訪れる。(NHK、読売新聞、日経新聞、共同通信、静岡新聞、文化放送ほか)
- 4月25日 東京地婦連、記念植樹のための標柱設置除幕式。
- 5月30日 『ニイガタディーゼル百年史』(資料提供)を新潟原動機職員より寄贈受ける。
- 6月15日 カザフスタン共和国国営テレビ取材。
- 6月18日 第五福竜丸元乗組員・見崎進さん(故人)の親族来館・見学
- 7月30日 FM川越取材
- 8月1日 アメリカン大学、ジョージタウン高校と日本の大学生たちの見学会。Peter Kuznick アメリカン大学教授、高原孝生(明治学院大学国際平和研究所長・協会理事)が引率
- 8月3日 北海道高校生平和大使来館
- 8月6日 吉永小百合チャリティ朗読とコンサート～第五福竜丸を想って(三重・津市総合文化センター)で安田事務局長対談
- 8月8日 東アジア青少年歴史キャンプのフィールドワークに日本、中国、韓国の高校生ら80人とスタッフ40人が来館
- 8月11日 アメリカ・ウィルミントン大学ピース・リソースセンターTanya Maus 所長来館
- 9月18日 Norma Field シカゴ大学名誉教授来館
- 10月8日 イタリアのバンド Tatita Intesa のメンバーが来館/ベルリン自由大学 Nadin Hee 教授資料調査
- 10月12日 台風19号接近のため臨時休館
- 10月13日 アートイベント「第五福竜丸 希望の航海」が展示館前ひろばで開催
- 10月22日 高校生平和大使ほか20人来館/ラグビー・ワールドカップ観戦で来日した人たちなど多数来館
- 11月2日 ヒクメット・オラトリオ実行委員会が見学し、トルコのテレビ局取材

- 11月3日 JR 新木場駅スタッフによる撮影
- 11月22日 インド Achin Vanaik CNDP 代表来館
- 12月22日 船体すすはらいに「一日ボランティア」12名参加
- 12月26日 キャッスル研究会に協会役員、専門委員ら参加
- 1月11日 Amherst College の Samuel Morse 教授が学生を引率して来館
- 2月1日 新型コロナウイルス感染拡大防止のため展示館入口に消毒用アルコール設置
- 2月13日 日本山妙法寺平和行脚見学会
- 2月22日 アイケーブリッジ語学院ロシア語通訳実習開催
- 2月26日 第五福竜丸元乗組員・池田正穂氏逝去。葬儀に参列。
政府のイベント等自粛要請を受け、団体見学予約のキャンセル、学芸員の講演など中止が相次
- 3月28日より臨時休館

【対外活動】

- 5月6日 国民平和大行進出発式 山本代表理事挨拶
- 6月15日 日本山妙法寺平和行脚出発式挨拶
- 7月13日 新日本スポーツ連盟主催反核平和マラソン出発挨拶
- 9月19日 カザフスタン共和国主催国際会議「核なき世界への道」が国連大学で開催され山本義彦代表理事と事務局が参加
- 9月23日 久保山忌句会・東京原水協見学会・平和を語る集いで山本義彦代表理事挨拶
久保山忌句会で奥山修平理事が講演
- 1月26日 東友会新春のつどいで安田和也事務局長挨拶

なお、新型コロナウイルス感染拡大を受けて、以下の活動が中止・延期となった。

- マーシャル諸島共和国スタディツアー 2月26日～3月8日
- 映画『第五福竜丸』特別上映会 3月1日

【取材協力・資料提供】

- 4月 NHK おはようニッポン 大石又七さんと第五福竜丸展示館
4月19日（全国） 5月15日（静岡） 5月13日（NHK WORLD）
- 5月 ARTE Europe（ドイツ・フランス公共テレビ）渡辺謙一監督 撮影・資料提供
- 5月 広島平和記念資料館展示ガイドブックに写真提供
- 5月 長崎市製作「平和ナガサキ」に写真提供
- 6月 映画「おかあさんの被爆ピアノ」五藤利弘監督 撮影協力
日本テレビ「oha4」 大石又七さんと第五福竜丸展示館 撮影協力

【主な報道】

- 4月 東京新聞・投書欄「10連休どうする？」 福竜丸館訪れ核廃絶考える
5月8日 静岡新聞 社説「第五福竜丸展示館 事件の風化防ぎたい」
5月15日 東京新聞 「第五福竜丸展示館リニューアル」
5月16日 新婦人しんぶん 第五福竜丸展示館リニューアル
5月19日 毎日新聞 第五福竜丸展示館リニューアル
5月29日 毎日小学生新聞 第五福竜丸展示館リニューアル
6月 全労働新聞 第五福竜丸展示館リニューアル
7月3日 毎日新聞 映画「西から昇った太陽」
7月29日 しんぶん赤旗「若者 BOX」 高校生平和ゼミナール見学
8月7日 赤十字国際ニュース
8月17日 静岡新聞 ベン・シャーン展
10月9日 コンサート「くじらのこえ なみのこえ」告知
11月20日 朝日新聞 第五福竜丸のことを 法王に手紙
11月20日 共同配信 「大石さん 法王に手紙」 (静岡新聞 宮崎日日新聞など)
11月 長崎新聞コラム

【ボランティアの会】

- 7月23日 研修会 映画『西から昇った太陽』鑑賞と解説
12月16日 研修会 写真展『ビキニの海は忘れない』 講師・岡村啓佐
1月13日 総会・学習会

【行政庁との連絡等】

- ・委託業務定期報告 毎月初め、東部公園緑地事務所管理課
- ・夢の島公園協議会 毎月1回定例
- ・新木場連絡会 隔月開催

2 その他の事業

①書籍・ミュージアムグッズの頒布

②出版事業

山村茂雄『晴れた日に、雨の日に 一広島・長崎・第五福竜丸とともに』
2020年3月現代企画室より出版した。

③「福竜丸だより」アーカイブ化

「福竜丸だより」のバックナンバーを第五福竜丸展示館 web サイト上で公開する準備作業を行った。

④第五福竜丸展示館 web サイトの一部更新

「福竜丸だより」のウェブ公開に伴い、web サイト全体のシステムの再構築、及びアーカイブページの新設を行った。2020 年秋、閲覧開始予定。

3 法人の管理運営

当年度に以下の通り諸会議を開催した。

2019 年 5 月 5 日 理事会

2019 年 5 月 26 日 評議員会

2019 年 11 月 24 日 臨時理事会

2020 年 3 月 15 日 理事会

賛助会員は以下のとおりである

	2019 年 4 月 1 日	2020 年 3 月 31 日
賛助会員（個人）	304	307
賛助会員（団体）	54	52
ニュース購読会員	85	94